

ハウス夏秋ピーマンの品種

「下総2号」(推奨品種の通用拡大)

「新さきかけ」(推奨品種)

(園芸野菜花さ部)

1. 来歴

「下総2号」

昭和40年代から越冬栽培の暑日照、低温下において果実の肥大がよく、多収で奇形果の少ない中型果を育成する目的で一代雑種(F₁)の組合せ検定が開始された。外国種の選抜固定「大型種」×国産種「小型種」が有望と認められ、昭和49年「下総1号」として「下総2号」と命名、発表された。昭和57年には露地栽培の推奨品種に採用されている。

「新さきかけ」

昭和30年代から中国系大型種「ナツメ」系統の選抜・固定が図られ、この系統を父に、また同様に高知在来の中小型種「昌介」の系統を母とし、このうちから多花性、着果力の強いNo6系統を母とした「ナツメ」×「昌介」No6の交配種(F₁)である。昭和42年に発表されたが、昭和59年から当場において品種選抜試験を実施し、有望と認められた。

2. 特性の概要

1) 形態及び生態的特性

品種名	類型	早晩性	草姿	草勢	主枝長	分枝数	葉型・節間	着果性	花色	低温伸長性	TMV-P抵抗性	疫病抵抗性	品質の総合評価	収量性
(参) 土佐グリーンB	大獅子	早	閉鎖性	中	中	多	中・短	側枝	白	中	弱	弱	良	多
下総2号	大獅子	早	立性	やや強	中長	多	中・中	側枝	白白	中	弱	弱	優良	多
新さきかけ	大獅子	早	中間	中	中	多	中・短	側枝	白白	中	弱	弱	優良	多

果実の形状・特性

形状	大きさ	長さ	果色	果皮の硬さ	果肉の厚さ	果面のシワ	光沢	アントシアニン発現	辛味の発現
太円筒	中	中	緑	軟	やや薄	やや多	中	中	なし
細円筒	中	やや長	濃緑	軟	やや薄	やや多	多	少	なし
太円筒	中	中	濃緑	軟	やや薄	やや多	多	やや少	なし

2) 品種の育成元

「下総2号」：日本園芸生産研究所「新さきかけ」；高知前川種苗

3. 推奨品種に採用した理由

夏秋ピーマンの雨よけハウス栽培は全栽培面積の約58%を占め、今後も長期生産安定、品質向上の面からこの作型の普及拡大が見込まれる。

雨よけハウス栽培では従来「エイトグリーンB」が導入されてきたが、低温年における果実のアントシアニン着色や、草勢の低下する後期の生産力低下など尚懸念が多くなっている。このため夏秋ピーマンの収益性向上を図るには単収及び品質向上が不可欠な良獲多収品種の要望が大きい。

「下総2号」「新さきがけ」は「エ佐グリーンB」に比べ収容率あり。また市場性の高い「エ佐グリーンB」並の果形を、より優れた外観的品質を有することから推奨品種に編入したい。

4. 適応地域及び作型

- 1) 適応地域 「下総2号」「新さきがけ」ともに県下全域
- 2) 適応作型 雨よけハウス栽培
- 3) 普及見込み面積 60ha

5. 栽培上の留意点

- 1) 栽培法については「エ佐グリーンB」に準じてよい。
- 2) 「下総2号」は高肥次、多湿条件を草勢が強勢となりやすいので肥培・かん水管理に十分留意するとともに過繁茂、採光条件を考慮し整枝、誘引を適正に行う。
- 3) 「下総2号」「新さきがけ」ともにTMV-P(トウモロコシ系)、疫病抵抗性がないので、罹病株の早期採取処分や排水対策の徹底を図る。
- 4) 「下総2号」は低温による異変果の発生が極めて少ないことから県北部、山周地域への導入のメリットが高い。また露地栽培同様の遅い定植期でも草勢が旺盛なため、この品種の適用による増収効果は大きい。

6. 試験成績

表-1 収量の品種別差異

(59~60年)

表-2 果実の品質割合 (個数%, 59~60年)

品 種	総収量 (kg)	a 当り収量 (A+B, kg)	良果収量 (A, kg)	収量水準 (対土佐グリーンB比%)			1) A品率 (%)
				総収量	a 当り収量	良果収量	
(15) 土佐グリーンB	752.4	712.1	567.4	(100)	(100)	(100)	79.7
下総2号	779.8	750.4	661.7	104	105	117	83.2
新さきがけ	787.6	753.4	628.5	105	106	111	83.4
土佐ひびき	784.5	736.8	597.6	104	103	105	81.1
50 サンテル	742.5	721.3	647.1	99	101	114	89.7
試交 125号	707.1	703.8	629.9	94	99	111	89.5
試交 117号	703.4	693.1	575.3	94	97	101	83.0
にしみどり	716.2	711.4	585.0	95	100	103	82.2
土佐グリーンA	743.6	692.9	546.9	99	97	96	78.9
年 ひじり	584.9	568.3	513.3	78	80	90	90.3
ニュー土佐ひかり	706.6	696.9	600.0	94	98	106	86.1
新さきがけ2号	723.1	718.1	577.5	96	101	102	80.4
土佐いぶき	762.0	719.3	568.4	102	101	100	79.0
試交5号	820.2	790.3	711.6	109	111	125	90.0
(16) 土佐グリーンB	813.5	772.3	535.8	(100)	(100)	(100)	69.4
下総2号	842.6	820.6	617.7	104	106	115	75.3
新さきがけ	821.1	806.6	566.2	101	104	106	70.2
60 土佐ひびき	807.4	791.0	596.0	99	102	109	74.1
サンテル	855.1	841.2	646.8	105	109	121	76.9
試交 125号	731.3	727.9	566.6	90	94	106	77.8
年 試交 117号	807.6	803.5	570.9	109	114	107	64.6
PN1159	1046.6	1023.1	631.0	129	132	118	61.7
PD59	541.0	531.0	435.6	67	69	81	82.0
PO59	720.9	715.8	476.7	89	93	89	66.6

注1) A品率=A/A+B×100 (重量%)

品 種	良果(A)	乱形果(B)	着色不良果(C)	煎焼果	畸変果	病果(D)
(15) 土佐グリーンB 1)	70.3	14.4	9.9	1.8	0.1	3.5
下総2号	76.4	14.5	6.3	0.1	0.1	2.6
新さきがけ	74.2	14.4	8.2	0.7	0.2	2.3
土佐ひびき	73.4	14.6	7.8	1.7	0.1	2.4
サンテル	78.1	11.7	8.1	0.6	0.1	1.4
試交 125号	81.8	14.5	3.3	0.1	0	0.3
試交 117号	72.1	23.3	3.8	0.1	0.1	0.6
にしみどり 2)	81.7	16.7	1.0	0.2	0.1	0.3
土佐グリーンA	74.7	14.5	4.4	2.2	0.3	3.9
ひじり	87.3	7.2	2.4	0.3	0.1	2.7
ニュー土佐ひかり	84.9	11.4	2.3	0	0.4	1.0
新さきがけ2号	79.0	19.0	1.2	0	0	0.8
土佐いぶき	75.5	13.7	5.7	1.5	0.4	3.2
試交5号	86.7	9.4	0.7	0	0.1	3.1
PN1159 3)	56.6	34.0	6.8	0	0	2.6
PD59	80.5	12.4	5.2	0.4	0	1.5
PO59	64.5	16.6	18.2	0.1	0	0.6

注1) 以下は2年併試 2) 以下は30年併試 3) 以下は60年併試

4) 灰ぐされ果・灰色かび病果